

総合物流施策大綱(2009-2013)

企業のサプライチェーンのグローバル化

アジアを中心に分散する事業拠点間の輸送
コスト等の低減が一層重要に
高いセキュリティ・レベルの維持と物流
効率化の両立も重点課題

安全・確実な物流の確保に対する要請

安全確実な輸送がゆらぎつつあり、対応が必要
トラックの重大事故防止、海上輸送路の安全確保が課題
災害に強い交通網確保、災害時の早期復旧も重要

物流を巡る
情勢の変化

京都議定書の第一約束期間の開始・ポスト京
都議定書の動向を踏まえた環境対策の必要性
地球温暖化対策の必要性の一層の増大

「総合物流施策大綱(2009-2013)」を閣議決定

柱1: グローバル・サプライチェーン を支える効率的物流の実現

政府間対話等を通じたアジアにおける
広域的な物流環境の改善
効率的でシームレスな物流網の構築
貿易手続や物流管理のIT化と国際
的情報連携の構築
セキュリティ確保と物流効率化の両
立

柱2: 環境負荷の少ない物流の 実現等

輸送モードごとの総合的な対策、モー
ダルシフトを含めた輸送の効率化
環状道路の整備、ITSの推進等の交
通流対策
地方公共団体、荷主、物流事業者等
の多様な関係者の連携による取組み
効率的な静脈物流の構築

柱3: 安全・確実な物流の確保等

利用運送事業者と実運送事業者の
連携強化
大型トラックの車両安全対策、運行管理
の徹底等
交通安全施設等の重点的整備
航行安全の推進や海賊行為への適切
な対応
防災・減災対策、労働力の確保・育成